※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １１２ |
|---|---|

# 令和５年度　芸術〔音楽〕

| 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | MOUSA2（教育芸術社） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・年間を通して「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

## ２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成する。
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
・個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
・主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。<br>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 | 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 | 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 題材名 | 学習内容 | 題材の評価基準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 曲を感じ取って、曲にふさわしい発声で歌おう | 【歌唱】<br>ハナミズキ<br>糸<br>Funiculì－Funiculà | a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。<br>【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。<br>b:リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。<br>c:旋律と言葉との関係に関心をもち、主体的・協働的歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート<br>演奏の聴取 | 観察<br>実技テスト | 観察<br>学習の記録 |
| | 表現を工夫してギターを演奏しよう | 【器楽】<br>天体観測<br>愛のロマンス<br>Tears In Heaven | a:【知】曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。<br>【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。<br>b：音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。<br>c:曲想とギターの音色や奏法との関わり、及びアーティキュレーションに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート<br>演奏の聴取 | 観察<br>実技テスト | 観察<br>学習の記録 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 変奏や編曲に挑戦しよう | 【創作】<br>「旋律の雰囲気を変化させよう」 | a:【知】音を連ねたときの響きや音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。<br>【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けている。<br>c: 旋律の変化と雰囲気の変化との関わりに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート<br>演奏の聴取 | | 観察<br>学習の記録 |
| | 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう | 【鑑賞】<br>《和声と創意の試み》第1集〈四季〉から〈冬〉<br>交響曲第 41 番ハ長調 K.551《ジュピター》から | a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。<br>b:音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 | ワークシート | ワークシート<br>観察 | |
| 2学期 | 日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう | 【歌唱】<br>浜辺の歌<br>からたちの花<br>Nel cor più non mi sento | a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。<br>【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。<br>c:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 | 観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 | | 観察<br>ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 和楽器に親しみ、表現を工夫して演奏に挑戦しよう | 【器楽】三線<br>涙そうそう<br>安里屋ユンタ | a:【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。<br>b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。<br>c:曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート<br>演奏の聴取 | 観察<br>実技テスト | 観察<br>ワークシート |
| | 世界の諸民族の音楽を知ろう | 【鑑賞】<br>「世界の諸民族の音楽」<br>【器楽】<br>ラ･クンパルシータ | a:【知】世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。<br>b:リズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 | ワークシート | 観察<br>演奏の聴取 | |
| 3学期 | ミュージカル・ナンバーを歌おう | 【歌唱】<br>The Phantom of the Opera<br>All I Ask of You<br>【鑑賞】<br>ミュージカル映画『オペラ座の怪人』 | a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。<br>c:音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | ワークシート | | 観察<br>学習の記録 |
| | さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう | 【器楽】<br>シンコペーテッド･クロック | b:リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。<br>c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | | 観察<br>実技テスト<br>発表 | 観察<br>ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度